ミニ文化祭

# 繊維植物に触れてみよう

東海大学教養学部自然環境課程藤吉研究室

期間：2013 年 2 月 22 日（金）～ 3 月 29 日（金）　場所：2 階情報コーナー

現在、衣服に利用されている繊維は、主に綿や化学繊維から出来ています。これらは、大量生産が可能で、安価なことから、江戸時代や明治以降広く使われるようになりました。それらが広く利用されるまでの長い歴史の間、人々（庶民）はどのような繊維を衣服に利用してきたのでしょうか。

私たちは、縄文から江戸時代にかけて主に利用されてきた繊維、特に繊維植物（古代布）に着目し、その種類と現状を調べてみました。展示の調査活動を通じて、実際に今も古代布が作られているカラムシ布・シナ布・クズ布・フジ布の生産地を訪問し、お話を伺ってきました。展示では、これらの古代布の現状や可能性、また繊維の歴史や織物の工程等についてもポスターを用いて紹介いたします。私たちが現地の織物体験で制作したコースター等も展示してあります。

↑カラムシ

↑制作したコースター

また、展示期間中に繊維植物を活用したストラップ作りの実演もありますので、ぜひご参加ください。

東海大学　4 年　松林　文

**ストラップ作り体験**

3 月 10 日（日）、3 月 17 日（日）、3 月 24 日（日）
時間:午後 1 時～ 4 時（材料がなくなり次第終了）
場所：2 階情報展示コーナー前